

海・山・温泉・人が輝く 夢と温もりの郷

しんおんせん 議会だより

Shinonsen Town Council News Letter

No. 73

令和6年(2024)
2月8日

おもな内容

あいさつ・議会構成	2
特集・議員定数	3
議案審議	4~6
議会ってQ & A・議決結果	7
一般質問	8~19
常任委員会報告	20~21
視察研修レポート	22~23
質疑・質問効果の点検、検証 ..	24
議案一覧	25
みんなの広場	26

トピックス 議員定数 次回の選挙から14名へ
大庭認定こども園耐震補強・改修等基本計画業務委託予算 可決



浜坂南小

やわらかくておいしい！地元の赤いか！

(令和6年1月19日 浜坂南小学校)

議長就任あいさつ

新しく新温泉町議会議長に就任しました池田宜広でございます。

日ごろから、町議会活動に温かいご理解とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

議会では、傍聴者も増え、議会に対する住民の皆さまの注目度と期待が高まっていることを実感いたしております。

引き続き、緊張感を持ちつつ、風通しが良い、自由な発言ができる議会運営を進めてまいります。町民の皆様の声をしっかりお聞きする中で、行政と真摯に議論を重ね、ともに知恵を出し合って、将来を見据えたまちづくりに取り組んでまいりたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

新温泉町議会議長 池田 宜広



議会構成

新温泉町議会では2年毎に議会構成が変わります。令和5年11月17日第127回臨時会において新体制が決まりましたのでお知らせします。

議長 池田 宜広 副議長 中村 茂

◎は委員長
○は副委員長

総務産建常任委員会 (7名)

◎竹内 敬一郎
○澤田 俊之 中村 茂
西村 龍平 森田 善幸
岩本 修作 中井 勝

民生教育常任委員会 (8名)

◎重本 静男
○河越 忠志 米田 雅代
岡坂 遼太 浜田 直子
宮本 泰男 中井 次郎
小林 俊之

議会運営委員会 (6名)

◎岩本 修作
○森田 善幸 岡坂 遼太
竹内 敬一郎 重本 静男
中井 次郎

議会広報調査特別委員会 (6名)

◎岡坂 遼太
○森田 善幸 西村 龍平
澤田 俊之 米田 雅代
浜田 直子

議会選出

美方郡広域事務組合	米田 雅代	岡坂 遼太	岩本 修作
	中井 勝	中井 次郎	
北但行政事務組合	澤田 俊之	重本 静男	
但馬広域行政事務組合	池田 宜広		
監査委員	小林 俊之		

議員定数、2名減の14名へ

昨年3月に立ち上げた「議会のあり方等調査特別委員会」にて、
幾度も議論を重ねた末、今定例会で結論を出しました。

次回から新温泉町議会議員選挙は定数14名で実施されます。

経過

令和5年3月1日、
「新温泉町議会議員定
数減に関する件の請願
書」が議案に挙がり、
特別委員会に付託され
ることとなった。

3月から11月の間に
計8回の委員会が開か
れた。また夏には、適
正な議員定数とその理
由についてパブリッ
クコメントを実施し、
129件提出された。
様々な視点で委員会
において意見交換を行
い、最終的に投票にて
決することとした。

特別委員会における投票結果

議員定数候補	票数
16名	1
14名	9
12名	3
有効投票数 13	

新温泉町議会議員定数 条例の一部改正

説明 現在の新温泉町
議会の議員定数を、人
口比、面積比、他町と
の定数比較、パブリッ
クコメントによる町民
の意見を元に、特別委
員会で議論を重ね投票
を行い、議員定数を14
名とする。令和5年11
月18日より施行。
賛成多数で可決

反対討論

中井 次郎 議員
新温泉町議会の
議員定数に関する
パブリックコメント
で提出された意見は
129件。その多く
が新温泉町の人口は
他町に比べて少ない
のに、議員の数が多
いとの意見であつ
た。しかし、比べる
なら人口だけでな
く、面積（241・
01km²）、高齢化率41・

33%、限界集落数22
か所、山林面積率
52%等も考慮すべき
である。そう考える
と、新温泉町の議員
の数は16名でも決し
て多くない。
……………

浜田 直子 議員

請願では、4名減
の12名とある。それ
を受けて特別委員会
で協議することと
なった。その中で、
町民の声を聞くため
に氏名、年齢、住所
などを明記するパブ
リックコメントを行
った。結果は、定
数10名・12名合わ
せるとほぼ9割とな
った。気持ちのこも
った、貴重な住民の
声を大切にすべきで
ある。町民の声を聞
き、町民の声を反映
し、町民との距離を
縮め、信頼関係改善
するためにも定数を
12名とするべき。

賛成討論

森田 善幸 議員

請願どおりの12議
席が町の人口・面積
や近隣他町の現状を
鑑み適した定数と
考える。しかし、3
月に特別委員会が設
置され、半年以上の
議論を経て、その間
意見募集や講師を招
いての研修も行なっ
た。そして11月に多
数決によって14名と
することが結論とな
った。次の次の一般
選挙においては、現
状よりも人口増加が
ない限り、さらに2
名減じて12名とすべ
きと考えて、今回の
条例改正に賛成する。

新温泉町議会議員定数 減に係る請願書

説明 議員定数を12名
に削減するもの。

賛成少数で不採択

子育て環境を巡り、討論

大庭認定こども園耐震補強・改修等基本計画業務委託！
病児・病後児保育施設の整備補助！

12月定例会のあらまし

第128回（令和5年12月）定例会が12月6日に招集され、19日までの14日間の会期で開催されました。町長提出案件は、報告2件、条例案8件、補正予算案10件、事件案1件、人事案1件の合計22件が提出されました。審議の結果、全て原案どおり可決しました。また、議員発議2件が提出されました。審議の結果、1件は原案どおり可決、1件は否決しました。

条 例 案

新温泉町行政組織条例の一部改正

説明 社会及び住民のニーズに的確かつ迅速に対応するため、健康福祉課を「健康課」と「福祉課」に分割する。在宅医療の充実を図るため、公立浜坂病院内に「訪問看護ステーション」を設置する。令和6年4月1日より施行する。
全員賛成で可決

新温泉町国民健康保険条例の一部改正

説明 国民健康保険に

A 国の制度に従うものである。
全員賛成で可決

新温泉町手数料条例の一部改正

説明 手数料の標準に関する政令の一部を改正する政令の公布に伴い、新温泉町手数料条例を改正する。パスポートの発給申請において、申請書と併せて「戸籍電子証明書提供用識別符号」を行政機関に提示することにより、戸籍証明書等の添付が不要になる。
全員賛成で可決

補 正 予 算

令和5年度新温泉町一般会計補正予算（第6号）

大庭認定こども園

Q 大庭認定こども園耐震補強・改修等基本計画業務の198万円の財源は何か。また委託先はどこか。

A 財源は一般財源。委託先は設計業者。

Q 成果物は何か。
A 耐震補強だけではなく、追加機能も加えた図面、工事等の概算も作成してもらう。



1974年建設の園舎

病児・病後児

Q 兵庫子育て支援員研修と病児・病後児保育普及促進事業は関連があるのか。対象事業者があるのか。

A 前者は有資格者育成のためであり、後者は開設準備のための補助金であり、関連がある。町内の小児科医院が今回の対象。

Q 病児・病後児保育普及促進事業の補助事業体が、なぜ特定の民間業者になるのか。

A 公立浜坂病院には小児科がなく、以前より、当該事業者と相談していた。当該事業者は諸条件を全て兼ね備えている。民間事業者ではあるが、次年度は運営していただくことを考えている。（国県町がそれぞれ三分の一ずつ補助）

Q 高齢者補聴器購入費助成事業は当初の予算は使い切ったのか。

A 既に使い切っており、今回の60万円の補正を提出している。

Q ジオパーク拠点施設へのデジタルサイネージ（電子看板）設置は、ジオパークの更新の条件となっているか。

A 指摘事項のひとつである。

Q JR利用促進のラッピング列車の全体予算が300万円だが、ラッピングだけの予算か。誰をターゲットにしているか。

A キヤラクターの作成費も含めての予算。地域外の人をターゲットにしている。

反対討論

米田 雅代 議員

二つの理由で遺憾ながら反対する。①病児・病後児保育事業関連予算は、明らかに新規事業であり、補正予算にはなじまない。要綱がないために、事業の善し悪しではなく、特定事業者に便宜を図るような予算計上となった。②大庭認定こども園改修等基本計画業務予算。一日でも早く耐震補強はすべきであるが、「事あるごとに浜坂認定こども園が先」とし

てきた施政方針から大きく転換するのであれば、町当局からの説明が必要である。

賛成討論

浜田 直子 議員

病児・病後児保育事業に向けた準備のための予算である。かねてより希望の声も多く望まれてきた、ようやく向かうことになった。早く設置すべき。大庭認定こども園は、浜坂認定こども園より以前に造られており耐震補強は必要である。新築の声もあるが、見据え、早急に今過ごしている園舎の耐震補強と保育環境の整備、0歳児保育などの充実に向けた設備を検討するためのもので必要である。

賛成多数で可決

令和5年度新温泉町一般会計補正予算(第7号)

説明 国からの臨時交付金を財源として、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援するための緊急経済対策を行う。

①電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業1億1569万円。「住民税非課税世帯(令和5年度分)」「上記の世帯と同様の事情があると認められる世帯(家計急変世帯)」に対し、1世帯につき7万円の支給を行う。但し、世帯全員が住民税課税者の扶養となっていない世帯は対象としない。

②住民税所得割非課税世帯生活応援給付金支援事業2078万円。「住民税所得割非課税世帯(令和5年度分)」に対し、一世帯につき5万円の支給を行う。但し、世帯全員が住民税課税者となっていない世帯は対象としない。

③私立認定こども園光熱費等高騰対策事業23万円。県による1園あたりの定額支給。全員賛成で可決

事件案

町道二日市古市線新市橋上部工修繕工事請負変更契約の締結

説明 建設工事請負契約書の規定、賃金等の変動に対する請負代金額の変更ができるインフレスライド条項により、変更契約を行い、237万3954円を増額するもの。

Q 追加工事を2回しているが、この条項を適用できるのか。

A できる。工事発注した時の単価で追加工事も契約している。国交省も積極的に適用するように言っている。

Q 追加工事の増額が今年の基準日以降の4

令和5年度12月補正予算(一般会計 特別会計 企業会計)

(単位:千円)

会 計 名			当初予算	補正額	補正後予算額
一 般 会 計			12,181,200	623,493	13,231,278
特別会計	国民健康保険	事業勘定	1,812,500	577	1,820,924
		歯科診療施設勘定	53,100	154	53,285
	後期高齢者医療		244,934	1,686	241,881
	介護保険事業		1,919,070	7,092	1,935,247
	浜坂地区残土処分場事業		1,048,500	48	1,199,110
	浜坂温泉配湯事業		97,862	123	97,995
公営企業会計 (支出)	水道事業		895,201	915	884,751
	下水道事業		1,416,706	1,958	1,418,938
	公立浜坂病院事業		1,686,437	16,649	1,698,973

月以降に補正予算化されている。それは本契約に含めてもよいのか。

A 追加工事の計算は

契約日の基準単価で行っており、本契約に含まれる。

反対討論

河越 忠志 議員

本件は工事請負契約書第26条第6項にあるインフレへの工事請負者の負担の軽減を目的とした条項に基づく変更契約である。しかし、対象となる工事額は、令和5年3月時点における残工事額であり、9月の2回にわたる追加変更契約額は対象とならないと考える。まして、最初の変更契約は、工事着手後に発生した亀裂への対応であり、工事者の責任は払しょくされていない。契約条項は適正であるが、運用に瑕疵があるものと考ええる。

賛成多数で可決



11月末に通行止めが解除された

議員発議

新温泉町立認定こども園を考える調査特別委員会の設置

米田雅代他2名の議員から特別委員会設置の発議が出された。

発議理由 浜坂地域の認定こども園整備問題を解決するためには、

従来どおりでは進展しない。まずは、町民から必要とされる理想のこども園の姿を調査・研究し、1年以内にその結果を取りまとめ、政策提言する。こども園構想をたてることにより、前進すると考える。特別委員会を設置する理由は、令和6年12月定例会までという期限を設けたこと、多角的な視点で考える必要があること、以上の2点である。

発議に対する質疑

※回答は発議者

Q 既に民意は受け

取っている。町民の声が届いてないのか。

A 民意の捉え方が違う。議員は住民の代表であり、議会の決定を重く捉えるべきである。

Q 新しく委員会を作るのではなく、民生教育常任委員会で議論を深めたいのではないのか。

A この特別委員会は令和6年12月に期限を切って、月1回は委員会を開催したい。委員会として町民の声も聞いていきたい。

反対討論

森田 善幸 議員

認定こども園についてはこども教育課の所管であり、民生教育常任委員会で論議される事項である。現在の認定こども園の課題は、浜坂認定こども園の改築場所と統合の有無が最も議論が分かれて進まない事である。その

課題を特別委員会で議論するというのなら設置について理解できるが、理想のこども園像ということなら所管の常任委員会で議論すべき。常任委員会活動を活性化していくためにも、特別委員会の設置には反対する。

浜田 直子 議員
本町の教育や保育の構想は、教育委員会、学校、こども園、行政など日々多くの方たちが考え行っている。また、町設置した「浜坂認定こども園整備検討委員会」が、2期何年も検討されている。この特別委員会の1年程でどれほどの提言ができるのか。まずは、民生教育常任委員会でも議論し、その上で全員協議会で議論すべき。議員が、お母さん、保護者、地域の多くの声を聞

賛成討論

澤田 俊之 議員

浜坂認定こども園の位置問題は棚上げし、町立認定こども園に通う全ての園児が平等な内容の保育等を受けるために、議員自らが、園児やその保護者、こども園従事者、そのほかの町民の方など、たくさんの方の声を聞き、この町に必要とされる認定こども園像を示すこと。町民の皆さんに議会の活動を見てもらう具体的な事例となること。町当局が、園の新築や改築、修繕が決まり、図面作成などに役立つこと。以上の3点から賛成する。

河越 忠志 議員

現在まで、町当局は、浜坂認定こども

園整備について、整備検討委員会の答申を根拠として、事業提案してきた。その整備検討委員会は、一期、二期とも「大庭との統合は考慮しない」ことを大前提としながら、浜坂認定こども園が改築されれば、いつか吸収することになるとの認識が議事録に記載されている。今、その大前提さえ根拠から覆る状況に直面しており、議会として、本来の認定こども園に求められる機能を精査する必要がある。

賛成少数で否決



浜坂認定こども園

議会って

Q&A



Q 「議案」は、だれが提出できるのですか。

A 議案を提出できるのは、

・ 町長
・ 議員

・ (議会の) 委員会

です。

議員及び委員会から提出された議案は、それぞれ発議第〇号、発委第〇号とつけられます。

※議員が提出する議案は一般的に「議員発議」と言われています。

Q 「議案」は誰に対して提出するのですか。

A 議会の議長に対して提出します。そして、提出は、文書でなければいけないことになっ

ています。

Q 提出できる「議案」の内容は、どのようになっているのですか。

A 予算については、議員及び委員会に提案権はありません。

町長だけに与えられているものは、予算、町の組織に関する条例、特別会計の設置条例、副町長・教育長の選任同意などです。

議員及び委員会に与えられているものは、委員会条例、会議規則、意見書、決議などです。

Q 議員が「議案」を提出するための条件はあるのですか。

A 地方自治法で議員の定数の12分の1以上の賛成が必要と定めら

れていますので、新温泉町議会で議員発議を行う場合は、2名以上(提出者含む)の賛成の議員が必要となります。

Q 委員会から提出できる「議案」は特別な制限があるのですか。

A 地方自治法により、提出できる議案のうち、その委員会が担当している事務に関するものに限定されています。

ただし、当町においては、委員会からの議案の提出は行われていません。

Q 委員会で採決し、議案等を提出する場合は、どのように行うのですか。

A 副委員長が提出者となり、委員会の中から賛成者を決め、議案を提出します。

Q 議員発議に対する質問には誰が回答しますか。

A 発議者が回答します。

令和5年 第128回定例会の議決結果

議 案 名	議 員 名																賛 成	反 対	結 果
	1 中 村 茂	2 西 村 龍 平	3 澤 田 俊 之	4 米 田 雅 代	5 岡 坂 遼 太	6 森 田 善 幸	7 浜 田 直 子	8 河 越 忠 志	9 竹 内 敬 一 郎	10 重 本 静 男	11 岩 本 修 作	12 宮 本 泰 男	13 中 井 勝	14 中 井 次 郎	15 小 林 俊 之	16 池 田 宜 広			
町道二日市古市線新市橋上部工修繕 工事請負変更契約の締結について	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	12	3	可決
令和5年度新温泉町一般会計補 正予算(第6号)について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	14	1	可決
新温泉町議会議員定数条例の一部 改正について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	-	12	3	可決
新温泉町立認定こども園を考える 調査特別委員会の設置について	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	-	5	10	否決
新温泉町議会議員定数減に係る 請願書について	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	-	3	12	不採択

「○」は賛成、「×」は反対を示しています。議長は採決に加わりませんので、「-」で表示しています。ただし、賛成と反対が同数の場合は、議長が決めます。(全議員賛成議案は省略)

ずばり！ 町政を問う

一般質問とは、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長に求め、町民のための適切な行政運営が進められているかを点検することと、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

議会広報では、質問議員が自分の質問結果の原稿（1人1ページ）を作成し掲載しています。

新温泉町のホームページでは、一般質問の動画を配信しています。



頁	質問者及び質問事項	頁	質問者及び質問事項
9	河越 忠志 議員 ①行政としての姿勢について【掲載】 ②浜坂駅前周辺活性化と駅前広場の検討について【掲載】 ③障がい者グループホームについて ④町道の消雪設備の水量不足について【掲載】 ⑤温泉町夢公社の在り方について ⑥町内の移動環境の課題について ⑦和牛畜産振興について ⑧浜坂高校への支援の可能性について ⑨認定こども園整備について ⑩新温泉町の子育て・教育環境について ⑪財源確保について ⑫熊対策について	14	中村 茂 議員 ①「躍動する新温泉町教育」に一言【掲載】 ②諸々の提案・懸案事項の状況
10	竹内 敬一郎 議員 ①物価高騰対策【掲載】 ②人権【掲載】	15	西村 龍平 議員 ①【教育】浜坂地区における小学校統合の可能性と浜坂高校の新しい特徴の創造【掲載】 ②【人口減対策と労働力の確保】人口減への対策の実施状況と特定技能外国人の招聘促進【掲載】 ③【観光】スポーツツーリズムの促進、大相撲浜坂場所の懸念点【掲載】
11	森田 善幸 議員 ①高齢者の交通手段の充実【掲載】 ②資源循環型農業の推進 ③ふるさと納税の推進 ④ケーブルテレビ自主放送チャンネルの利活用と防災行政放送	16	澤田 俊之 議員 ①町の将来に対する施策について【掲載】 ②「こちら町長室」について
12	米田 雅代 議員 ①教育行政について【掲載】 ②町の課題解決について【掲載】 ③“まちづくり”について	17	岡坂 遼太 議員 ①連携中枢都市圏や広域行政の可能性 ②空き家・空き地の活用【掲載】 ③製造業の振興と雇用の創出【掲載】
13	中井 次郎 議員 ①こども医療費助成【掲載】 ②銃を用いた有害捕獲の成果 ③今の保険証を残すべきだ ④公共施設の利用促進策提案	18	重本 静男 議員 ①教育行政について【掲載】 ②自転車用ヘルメットの購入助成について【掲載】 ③子育てしやすい町づくりについて【掲載】
		19	浜田 直子 議員 ①子育て支援策としての遊び場と教育について【掲載】 ②浜坂認定こども園について【掲載】 ③身近な地域での困りごとの伝わる制度の運営について【掲載】

※質問は通告受け付け順に掲載しています。【掲載】は記事にした質問事項です。



河越 忠志 議員



町の課題には「チーム銀三」で取り組み

町長 叱咤激励に応えるよう頑張る

課題解決に向けた
行政の姿勢

問 町が公共水道管等を埋設した後、その位置が民有地であると後に判明した場合、町は何をすべきだと考えるか。

町長 そのような事案が発生した場合、地権者と協議して、問題を解決していく。

問 町が用地買収の際の登記を誤ってしまった場合での対応は、どうか。

町長 間違いがあれば正す方針だ。

問 消雪装置の水量不足を含め、湯区内の以前から提言してきた同様の問題には全く対応していないが、どう解決するつもりか。

町長 抽象的な質問には、答えられない。



現在、水量不足が生じている消雪設備水源の根本的保全ができていない

問 浜坂駅前整備案が先の議員全員協議会で示された。商工会や商店街の皆さんとの話し合いが決裂した後、役場内でのチームで練り上げた計画だが、当該整備案は、駅周辺及び浜坂中心市街地にどのような活性化をもたらすと考えるのか。

町長 駅は町の顔でイメージも大切だ。来町者や日々の利用者の利便性も、きっちりと維持していく流れを考えている。

問 地域の皆さんとの対話を怠ってきた経緯から、納得を得ることは困難だと思う。その流れをつくれる見通しはあるのか。

町長 流れはつくっていくきたい。そのように頑張る。

問 その駅前整備の昨

年までの担当者が今年の春に異動になった。事業推進の流れが途切れることになり、前任者は、中途半端な仕事で終わってしまう。後任者は、経緯の把握もままならない状態で、重要局面に対応しなければならぬことは考慮しないのか。

町長 私も議員を19年間やったが、担当者がどうのこうのといった質問には答えられない。

問 本町にはたくさんの課題がある。この課題の全てを町長が一人で担うことはできない。つまり、庁舎内がチーム銀三となって対応する以外の方策はないと思うが、どうか。

町長 河越議員の叱咤激励に応えられるよう頑張る。

子どもの人権意識の向上のためには何が必要と思うか

町長 対話を進めていくことが、一番大事と考える



竹内 敬一郎 議員



問 人権に関する意識調査を5年に1度の計画で、実施している。アンケートの結果は、どのように生かされているのか。

町長 人権学習の成果と課題を明確にし、さらなる人権学習内容の充実を図る。課題が確認された性の多様性をテーマに地区学習会を通じ、町民への啓発推進を行っている。

問 本町は、毎月第1週の水曜日に、文化会館と町民センターで人権相談を設けているが、利用状況は。

総務課長 令和4年は、

浜坂地域で1件、温泉地域で1件。令和5年は、浜坂地域で1件である。

問 こども基本法が、令和5年4月1日に施行されたが、どのように認識しているか。

町長 こども家庭庁もスタートし、法律ができたことは大変に良かったと思う。

問 こども基本法は、大人と同じように、一人の人間として権利を持った主体と定義されている。子どもに対しての見方も変えていかなければならないと思うが、どうか。

町長 これからは、社会が子どもを育てていく流れが強くなると思う。

問 子どもの権利は、子どもたち自身が、権利の主体だという自覚を持つことが必要と思う。学校教育での学習が必要ではないか。

生涯教育課長 人権意識を学習で育み、こども基本法の内容をしっかりと伝えていく。

問 文化会館での人権学習、学校教育での人権教育、全ての町民を対象にした人権学習を実施しているが、成果はどのように評価しているか。

町長 人権啓発推進の町として、非常にすばらしい流れができていると実感している。多くの方に参加してほしいと思う。



こどもの権利を保障する総合的な法律

物価高騰対策

問 物価高騰の影響を受ける生活者や事業者を支援する重点支援地方交付金が追加された。低所得世帯への支援と推奨メニューの2つが柱となっている。低所得世帯への支援、1世帯あたり7万円は年内に給付できるのか。

町長 システム改修を伴うため、1月から2月の支給予定である。

問 推奨メニューの事業は決まっているか。

町長 生活困窮世帯等への生活支援、事業者へのエネルギー価格高騰対策支援等を検討する。



森田 善幸 議員



高齢者の交通政策は、健康増進・認知症予防にも寄与する

町長 提案を研究していきたい

問 昨今のタクシーの営業時間の短縮は、高齢者や観光客にとって、不便さが増している。一方で町民バスにはほとんど乗客が乗っていない時間帯や便がある。それらの便を減らし、その分をタクシー会社に補助を行い、営業時間延長を要請するとか、福祉タクシーのさらなる充実に財源を移行できないか。

町長 庁内で改めて議論をしたい。

問 10月に岡山県久米南町の「AI（人工知能）予約配車システム」を活用した持続可能なフルデマンド交通について副町長も同行して視察研修してきたが、その情報を聞いた町長の所感を問う。

町長 プロポーザル方式で業者を決定し、民間の基金の助成を受け、ネットと電話の予約で、より効率的な運用が行われている。参考になることはたくさんあったが、久米南町は本町に比べ、面積が約三分の一で運用しやすい面がある。このシステムについては、今後、検討をしたい。

問 久米南町が負担する金額は事業者に対する補助が、約3800万円、AIシステムの運用の経費が約200万円で合わせて年間約4000万円。本町に当てはめて単純にこれを3倍にすると、1億2000万円、現在の町民バスの委託料より、若干安く済む。需要が多い朝や夕方、スクールのバスや通学バスについては、バス車両にして、あとはワゴン車のような車両でAI予約配車システムを活用すれば、家から目的地に直接安価で行け、同様に帰って来れる。利便性も増し、今後、生活に必要な部分だけではなく、余暇等にも利用されるようになり、健康増進や認知症の予防にも役立つのではないかと。

町長 交通の便を確保するのみならず、認知症の予防にも役立つ提案ということで、町民バス、AIを使った乗り合いタクシー制度の併用を研究していきたい。

問 現在交通政策は企画課、健康福祉課に分かれているが、令和6年度の組織の見直しに伴い、この際、一体的に交通施策を考えるべきで、一つの課に一元化すべきではないか。

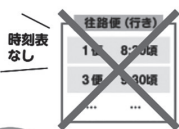
町長 将来的に考えてみたい。

AIを活用した予約配車で便利！

運行時間内ならいつでも好きなときに利用できる！

時刻の定めがなくなり、いつでも、町内どこへでもけるように

乗車の直前まで予約が可能に



さらに 電話だけでなく、スマートフォンで予約ができる！

岡山県久米南町の人工知能を用いた乗り合いタクシーの予約配車システム（久米南町ホームページより引用）

教育長人事で否決されることは考えなかったのか

町長 当然通ると思っていた



米田 雅代 議員



問 11月28日に任期満了を迎える教育長人事案件が、議会に提出されたのは、11月17日の臨時会であった。提案の時期は適切であったか。

町長 適切な対応だ。

問 議会が4対11で否決した理由をどのように考えているか。

町長 分からない。経歴を見たら、的確な判断をしてもらえると思っていた。

小学校の再編成

問 照来小でも来春、複式学級ができる。温

泉・浜坂両地域での小学校の再編成は考えないのか。

町長 令和8年度までには方針を示す。

問 小中連携、中高連携等、縦のつながりは一定の配慮がされている一方、小学校同士、中学校同士の横のつながりは弱いように思う。横のつながりを考えて再編成に向かう必要があるのではない

か。

町長 再編成は、行政が上から強制するような案件ではない。地域との合意形成を一番大切にしたい。

町の課題解決

問 「おんせん天国」というような政策を打ち出す場合は、事前に評価軸を持ち、町民の満足度や政策の進捗状況を確認すべきではないか。

町長 町民アンケートの項目にあげて、満足度を確認しながら進めていく。

問 「出るものから入るものを考えよ」これはふん尿の処理能力から牛の飼育数を考えよとの意味である。その点からも畜産振興の上で堆肥センターは必須である。ふん尿の処理問題を考えるのではなく、堆肥センターを造る方に舵を取るべきではないか。

町長 引き続き前向きに検討していく。



発表した生徒たちの「この世界農業遺産をどう生かしていくの」この問いかけに応えていく責任がある

問 浜坂病院を維持していくためには、一般会計からの持ち出しは必要であるが、財政破綻しないように線引きは必要だ。その上で、病院の方向性をどのように考えているか。

町長 訪問診療、訪問看護などの在宅医療を強化、推進していく。病院の役割は大きいと

委員会よりお詫び
議会だより72号の米田議員の一般質問(20頁)において、3段目6行目で、答弁者が教育長とあるのは町長の誤りです。謹んで訂正いたします。



中井 次郎 議員



18才までの医療費窓口負担を無料に

町長 そのような方向を打ち出したい

子育て世代に負担がかかっている

問 現在、町民から物価高騰に悲鳴が上がっている。とりわけ国民生活にとって苦しく深刻な打撃となっているのは、自民党政治の下で30年という長期にわたって、経済の停滞と衰退が続き、特に、日本は賃金が上がらない国となっている。実質賃金は、1991年直近の10年間で見ると、

増えるどころか、年間24万円も減っていて、子育て世代には大きな負担がかかっている。そういう中で、町民から「18歳までの子ども医療費の窓口負担は所得制限なしで、無料にして、安心して子どもを産み育てる町にしてほしい」という意見がでてきている。兵庫県下で見ると、高校3年生までの医療費、窓口負担無料（所得制限等の条件あり）が、37市町となっている。そして、通院、入院とも無料（所得制限なし）が17市町である。この実態は知っているか。来年の予算で、この点を求めたいと思うが、どうか。

町長 新温泉町は、県

下でも1人あたり所得が最も低い状況だ。なお、高齢者の年金生活の方々が増えており、所得が低い方が、一方で、1人あたり給与が増えていないというデータも出てきている。改めて、町民の生活を支える視点で向かい、本町は令和2年の7月から高校生までの子ども医療費の無償化、無料化を行ってきたが、所得制限を設けて、一部は対象外になっている。

約86万円必要だ

問 但馬の中でも養父市が既に所得制限なしで無料になっている。それに合わせて本町でもそのことを求めている。そういった中

で、制度を改正すると、町財政からの持ち出しは一体、幾らの持ち出しになるのか。

町長 令和4年度の高校生は318人おり、そのうち対象外となる方は48名。現在、令和4年度の資料では、1

人あたり医療費が約1万7500円かかっている。48人分と計算すると、約86万円がさらに必要になる。本町でも、所得制限なしの方向を打ち出していきたい。



元気で、健康な学校生活を新温泉町も応援！

町長在任中に学校園の適正規模・配置の方針を

町長 教育委員会もあり十分に尊重しながら進めたい



中村 茂 議員



「躍動する新温泉町の教育」に一言

問 本年度の新温泉町

まちづくり懇談会が7会場で行われた。テーマの「教育全般」では

各会場で共通した代表的な意見はどのようなものがあつたのか。

町長 教育関係の意見は55件。代表的な意見は、浜坂地域のこども園、小学校統合は、賛成、反対、中立等、均等に出されていた。園のことも含めて、スピードリーな対応をやってほしい。どの会場でも「保護者の意見

が大事。」との意見が多くあつた。意見は公表する。

スピードリーな対応を

問 町教育振興基本計画では、「施設の老朽化、少子化に伴う園児

児童生徒数の減少が見込まれるため、学校のあり方等について検討します」とある。同計画は5年間、計画策定から1年半経過しているが、検討はされているのか。

こども教育課長 教育に関するアンケートの結果でも、統合に賛成と反対の意見が拮抗している。住民や保護者等に丁寧な説明をしながら方向・方針を示していきたい。

問 豊岡市は10年間で全小中学校適正規模・適正配置計画を定めている。香美町は5か年で旧町ごとの幼稚園、小学校を1か所にする計画が確定している。町長の任期中に責任ある計画として打ち出すべきではないか。

町長 教育委員会の考え方もあり、十分に尊重しながら進めたい。

浜坂高校は連携型中高一貫教育校が方針

問 本年度、「中高連携方針検討委員会」が設置され11月に経過報告があつた。内容では「連携型中高一貫教育校方式」が決定となる

結果でも、統合に賛成と反対の意見が拮抗している。住民や保護者等に丁寧な説明をしながら方向・方針を示していきたい。

問 豊岡市は10年間で全小中学校適正規模・適正配置計画を定めている。香美町は5か年で旧町ごとの幼稚園、小学校を1か所にする計画が確定している。町長の任期中に責任ある計画として打ち出すべきではないか。

町長 教育委員会の考え方もあり、十分に尊重しながら進めたい。

浜坂高校は連携型中高一貫教育校が方針

問 本年度、「中高連携方針検討委員会」が設置され11月に経過報告があつた。内容では「連携型中高一貫教育校方式」が決定となる

こども教育課長 県と町の教育委員会が合意に至った段階で協定書を交わし、それぞれが教育委員会規則の改正を行う。移行は教育長不在のため明確にできない。必要な説明、協議は進める。

問 選抜方式が変わり、グローバルキャリア類型が廃止となるようだが、成績上位者の浜坂高校離れに拍車がかからないか。

こども教育課長 同類型の入試はなくなる予想だが、移行した際も入学後の学力保証について継続対応したい。

問 選抜方式が変わり、グローバルキャリア類型が廃止となるようだが、成績上位者の浜坂高校離れに拍車がかからないか。

こども教育課長 同類型の入試はなくなる予想だが、移行した際も入学後の学力保証について継続対応したい。

問 選抜方式が変わり、グローバルキャリア類型が廃止となるようだが、成績上位者の浜坂高校離れに拍車がかからないか。

こども教育課長 同類型の入試はなくなる予想だが、移行した際も入学後の学力保証について継続対応したい。

問 選抜方式が変わり、グローバルキャリア類型が廃止となるようだが、成績上位者の浜坂高校離れに拍車がかからないか。

こども教育課長 同類型の入試はなくなる予想だが、移行した際も入学後の学力保証について継続対応したい。

問 選抜方式が変わり、グローバルキャリア類型が廃止となるようだが、成績上位者の浜坂高校離れに拍車がかからないか。



浜坂高校の次代を見据えた議論が進んでいる



西村 龍平 議員



地域課題か、子ども目線かのどちらに軸足を置くのか

町長 どっちがどっちというレベルの問題ではない

浜坂地域における小
学校再編

問 地域、もしくは子ども目線の課題について、どちらに軸足を置くのか。

町長 どっちがどっちというレベルの問題ではない。

問 1桁の少人数過ぎる教育が、子どもの成長に課題を残すことはないか。

町長 小さい小学校で育った人が町長にな

令和6年度4月の浜坂地域における小学校の想定児童数（令和5年11月末現在）

	新1年生	新2年	新3年	新4年	新5年	新6年	合計
東小学校	5	5	9	2	10	3	34
西小学校	10	4	10	12	12	6	54
南小学校	6	12	12	9	11	10	60
北小学校	34	33	18	38	36	35	194
合計	55	54	49	61	69	54	342

り、そういう人もたくさんいる。

浜坂高校の新しい特徴の創造

問 香住高校は海洋学科、村岡高校はアウトドアスポーツ類型という素晴らしく分かり易い特徴がある。早急に2つの高校に負けないビジョンが必要だがどうか。

町長 高校のビジョンは校長先生を中心に、学校側が主に考え、町と共に考える。それが地域に根差した学校である。

問 観光の町である特徴に合わせた観光コースの設立はどうか。
町長 一つの方向性としてはいいのではないかと思う。

人口減少対策と特定技能外国人の招聘促進

問 老朽化のインフラ整備、町営施設運営等、人口減少に伴う税収減について対応策はどういったビジョンを描いているか。

町長 この難問の中だが、産業を興す、地域の農業、漁業、観光産業等に注力し、人口増雇用の場を増やしていくのが大切だ。

問 特定技能外国人の招聘に向けた積極的な取組み策は町では考えないか。事業者任せでいいのか。香美町の介護施設向けの支援金制度はどう感じているか。

町長 この地域の方言の勉強会等、積極的に外国人の生活支援は行っていきたいと考えている。香美町の施策

の実態は知らないが、先進的に取り組んでいるなど感じている。我が町もその視点を持って研究をしていきたい。

スポーツ観光の促進

問 新しい観光の形を活用し、町長の目標の観光入込数150万に向けて、各年毎の目標設定はできないか。

町長 今後検討していく。

問 麒麟獅子マラソンを、宿泊増加等の経済波及効果の高いフルマラソン化への可能性をどう考えているか。

町長 コースを取るのが極めて難しい、ボランティア、スタッフの確保の問題、駐車場の問題、そういった課題があり、現状では少し難しい。

町外に出られる方がたくさんおられるが

町長 出られる方は、出るだけ出ている



澤田 俊之 議員



問 道路事情がよくなると町を出る方・入る方が多くなる。現在、町外に出られて住む方がたくさんおられる。その対策が必要ではないか。

町長 町に働く場所を増やす。現に町で働く方が増えている。もう出るだけ出ている。

問 限界集落が60地区中22地区あるが、この現状をどのように捉えているか。

町長 集落の支援員を配置しながら、高齢者対策、人口減少対策に取り組んでいる。

問 将来、この町はどの

ようになつて行くと思われるか。

町長 将来、私はこうあるべきだというふうな大それた考えは持っていない。安心して住める町を求めている。

問 町長が考えるこの町の将来像はどのようなものか。

町長 総合計画の「海・山・温泉、人が輝く町」というのが将来像である。

問 高齢者数は、平成17年の合併時5204人、令和元年以降は、毎年5500人余りとなっている。今後この人数はあまり変動し

ない。そう考えると人口減少が進めば進むほど高齢化率はどんどん進んでいく。将来に備えて、どのような施策が必要と思われるか。

町長 人的な支援、様々な支援制度も打ち出していききたい。

問 出生数は、令和元年62人、2年54人、3



まちづくり懇談会。住民の声をどのように生かしていくのか？

年63人、4年54人となっているが、どのように捉えているか。

町長 男性の20歳から50歳の2人に1人が独身、それから女性の3割が独身という町のデータが続くようであれば出生数は減るのかなと考えている。

問 結婚の数は、令和

元年26組、2年32組、3年17組、4年18組であり、子どもの数が大幅に減つてくると考えられるが、どのような施策をしているのか。

町長 赤ちゃんが生まれる前から様々な支援を行っている。

問 新しい施策は何か。

町長 昨年度から赤ちゃんお祝い5万円の商品券、紙おむつ購入券支給、不妊治療費の充実に図っている。

問 町長は、お金の部分を強調するが、お金以外の部分での施策はしないのか。

町長 子どもの出生については、我々が単独でできるのは、生活環境、環境というのは資金面。学校給食などが大事である。



岡坂 遼太 議員



空家等対策特別措置法の改正を活かすべき

町長 制度を積極的に活用したい

管理不全空家の調査

問 空家等対策特別措置法の改正が令和5年12月施行で、空家等活用促進区域や管理不全空家の導入が大きな目玉である。管理不全空家制度は、将来的に特定空家になるおそれのある物件に指導・勧告できるもので、固定資産税の住宅用地特例の税制優遇から除外できることが可能である。制度をフルに活用すべきではないか。

町長 制度を積極的に活用したい。

中心部の空き家対策

問 町が平成27年に空き家現地調査を行ったが、管理不全空家に該当するかどうかは改めて調査しなければ分からない。再度調査すべきではないか。

町長 指摘どおり、一

問 湯村温泉などの中心部における空き家は、景観上の影響が大きい。そのため、特別な対応が必要ではないか。

町長 観光地として非



エリアに応じた空き家対策が必要

常に残念な状況にある。個人の財産なので解決が難しい面はあるが、町が関与して店舗活用することも考えてやっていきたい。

問 活用促進区域を湯村温泉で指定すれば、個人に対してもアクションを取りやすいかもしれない。所有者・権利者の特定や、「観光地であるから活用してもらわないと困る」と町から指導・勧告できる制度だがどうか。

町長 良い意見をいただいた。検討する。

町営住宅の計画策定

問 公営住宅の活用は考えているか。

町長 これまでは人口問題について、子育て支援単独の視点だったが、視野を広げて住宅を含めた全体像をにらんだ町営住宅の計画を来年度つくる予定にしている。

問 町営住宅で、退去後に新規入居がないこともあるのではないのか。

町長 高齢化で後に住む人が居らず、そのまま空き家になっている状況もある。

賃貸は雇用にも影響

問 町内事業者は従業員の住居問題に悩んでいる。賃貸がないため、近くに住めないなら本町で働かないというケースもある。対策はあるか。

町長 外国人船員の住居改修に補助を出している。働き手、担い手の確保、外国人労働者の環境整備も含めてやっていきたい。

問 漁業に関わらず、取り組むべきだ。

町長 全体像を踏まえた上で、町営住宅のあり方など、検討をした

子育てしやすい町づくりを推進する施策は

町長 我が町に合ったさらなる支援策を検討する



重本 静男 議員



子育てしやすい町づくり

問 妊娠期から出産・子育て期まで一貫した身近な相談支援や経済的支援を行っており、本町の子育て支援は手厚く、充実した施策と思う。今後の課題は何か。

町長 将来を担う子どもが多くなる支援策を充実したい。

問 子育てしやすい町づくりの構築が急務と思う。推進する施策を問う。

町長 県内では、明石市が非常に参考になる。我が町に合ったさ

らなる支援策を検討する。

問 共働き子育て世帯にとって、最も重要なインフラが保育園だ。今まさに、本町のことも園の早期新築整備が

望まれる。立派なことも園の建設により、町外からの転入の施策を問う。

町長 保育園の充実は大変である。さらに、住宅政策も重要である。5年後の高規格道路、浜坂二期工事の完成に照準を合わせて考慮する。

教育行政

問 本年11月17日の臨時会において、町提案

の教育長人事案が否決された。29日以降教育長が不在になり、今後の教育行政に影響が及ぶと思う。影響と対策を問う。

町長 教育長不在により、町学校園の運営、生涯教育に影響がある。事務事業が衰退、遅れないよう速やかな対応を行う。

問 以前にも教育長不在になり、浜坂認定こども園の整備が遅れた経緯がある。浜坂地域の認定こども園の整備計画への影響と対策を問う。

町長 12月の補正の中に大庭認定こども園の計画も入れており、支障のない形で進めたい。

問 次回の教育長選任の時期は。

町長 教育行政の停滞がないように、できるだけ早く人選を進めたい。

自転車用ヘルメット購入助成

問 令和5年4月1日から道路交通法の改正に伴い、自転車用ヘルメット着用が努力義務となった。兵庫県

のヘルメットの着用率が全国で最下位であった。町民への周知はしているか。

町長 広報紙などの掲載、行政放送、町内における街頭キャンペーンなどで周知はしている。

問 浜坂高校へ自転車通学している生徒も通学補助制度の対象にすべきである。

町長 高校生に対する補助については、検討する。

ぽかぽか
子育て新温泉町

新温泉町は子育てを応援します！

新生活

- 町内の賃貸住宅の家賃を補助！
(最大1万円/月、最長2年間) ※条件あり
- 結婚に伴う引越し・住居費の一部を最大60万円補助！ ※条件あり

出産

- 初産・経産ともに50,000円/月！
- 新生児お祝い金として5万円分の商品券！
- 妊娠・出産時の経済支援として計10万円支給！
- 保健師・助産師・栄養士が電話・訪問相談
- 18歳まで医療費無料！ ※所得制限あり

保育

- H23年からずっと待機児童ゼロ！
- 3歳児以上の保育料無償化！
- 3歳児以上のこども園の給食費無償化
- こども園無料送迎バス

学校生活

- 放課後児童クラブの移動輸送サービス
- 小中学生の通学費補助！ ※条件あり
- R5年度 小中学校の給食費無償化！
- 浜坂高校の生徒が町民バス通学定期券を購入する場合は費用負担割合が1/4
- 町民バスを利用される高校生までのお子さんに1人1台の給食で15分程度の給食費を減免
- 教育関係機関が主催する給食大会以上の大会への出席者に対して、対象経費半額補助！

その他にも...

- 地元産材をふんだんに使った美味しい給食！
- 自然体験・地域学習、本を讀む教育 など...

詳細は裏面を確認！
令和5年4月1日現在

新温泉町

子育て支援のパンフレット



浜田 直子 議員



遊び場、こども園整備、高校魅力アップを

町長 改めてスピードを上げて考える

子育て支援策

問 日々のお母さん達の暮らし、気持ちが大切。天候に左右されない屋根付きの遊び場、誰でも集まれる交流の場が必要ではないか。

町長 有ればいいと思う。研究する。

問 浜坂文教エリアにグラウンド、公園の計画は、どうか。

町長 まちづくりの総合計画にも子ども達の遊ぶ環境など入れていきたい。

こども教育課長

新温泉町教育構想に基づき充実した支援を行っている。健康福祉課等とも連携している。全小

中学校でコミュニケーションスクールの導入で、地域で子育てしている。

問 家庭で学べるシステムの導入は。

こども教育課長

G I G Aスクール構想のタブレットを活用して進めたい。

問 浜坂高校の魅力アップについて。地域からも支援の声が上がってきている。

町長 将来像を把握して進めたい。

問 今の部活動、サー



地域になくてはならない浜坂高等学校として更なる魅力アップを！

クルの応援、eスポーツなど設立の支援は。

こども教育課長 支援していききたい。

問 浜坂高校への進学を増やすには小中学校の充実が不可欠である。統廃合問題は、20年程前に、今を見据えて既に実行している。今論ずる問題ではない。子どもへの投資として考えるべき。

町長 検討する。

浜坂認定こども園

問 この度の台風でも安全であった。味原川の水門計画もある。町長の見解を問う。

町長 現在地は、様々な観点から危険ではない。

問 町内全ての保育環境に差をつけない、早期の新築整備を求める。

町長 改めてスピードを上げて考える。

身近な地域での困りごとの伝わる仕組み

問 現在でも、町として相談窓口をたくさん準備しているが、わかりやすく伝える方策は。

町長 人権、起業、就労など、様々な場所、商工会などでも行っている。

問 悩みは多岐にわたり、区長、民生委員だけでは、全て対応できない。町のホームページでも、相談コーナーもあった。少しでも悩まれる方が減り、過ごしやすい町にすべきではないか。

町長 広報に毎月相談日など掲載している。町民安全課が、相談窓口になっている。より一層、親しみやすく声をかけやすく、悩み事、相談事がしやすい対応に努める。

総務産建

常任委員会

農林水産課

スマート林業及び高性能林業機械導入更新支援事業補助金交付要綱の制定

説明 北但西部森林組合に対し3年計画でドローン等のスマート林業関連機器や高性能林業機械の更新導入支援を香美町とともに行う。

Q 財源と補助率は。
A 財源は森林環境譲与税。香美町と合わせ



様々な活用が考えられるドローン

て、三分の二を補助し、両町の私有林人工林面積の割合で負担する。

建設課

除雪計画

Q 午前4時以前でも出動は可能か。指示を待たず出動できるか。
A 業者や状況によって要請している。状況次第で指示がなくても出動することもある。

浜坂駅前整備事業

説明 駅前周辺の利用可能な敷地を含めて整

備計画素案3案を作成し、関係団体等から意見をいただいた。

Q ビジョンやコンセプトの議論ができたか。誰のためにどのように整備するのか。

A 庁舎内の関係課で議論し3案を出した。今後年度内に地元団体と協議してよりよいものになりたい。

商工観光課

ふるさとづくり寄付金受け入れ状況

Q 12月の見込みはどうか。
A 前年より少し落ち込む予想である。

Q 体制を強化したのになぜそうなるのか。
A ふるさと納税返礼品を始めるのが遅く、全てのサイトを委託して運用してきた。ノウハウが蓄積されておらず、検討事項も多く、

実施までに時間を要した。

課題解決型ワークショップ事業の取組み状況

Q 交流人口の拡大に寄与するか。将来的な成功の姿は。
A 深い関係人口を掘り起こすことに寄与している。外から来た人とそれに触発された地域のひと協力して地域を盛り上げ新たなサービスを提供する。

企画課

ケーブルテレビジョン事業

Q 集落内放送は有料となるのか。
A 通話料がかかるが、町で対応策を考えている。

Q 区長説明会の内容をケーブルテレビで流してはどうか。
A 様々な手法で事前情報を流す。

まちづくり懇談会実施結果

Q 地域によって出席人数や意見・質問に差異があるが。
A テーマによるものと思う。

Q 来年に向け、若い世代・女性の参加者数を目標化すべき。
A 実施時期の問題もあった。カレンダーに載せるなど早めの周知、保護者会などへもっと細かく案内していく。

総務課

財政計画

Q 地方交付税が令和10～12年に増加する要因は。
A 地方債の償還で交付税算入分が増えるため。

Q 人件費が年々微増しているが、職員数の推移はどうか。
A 職員数は現状維持

で、ベースアップ見込み分を勘案している。委託等で行えることは委託している。

民生教育

常任委員会

こども教育課

教育に関するアンケート結果

報告 「第3期教育振興基本計画」の進捗状況や今後の教育に参考にするためのものである。

Q 学校のあり方、この設問の意図がわからない。再編成がはっきりわかるような問い方にすべきではないか。また居住地域を聞く項目がなかった理由は。
A 大きな方向性を知るために実施した。このアンケートやまちづくり懇談会等で、統合についての町民の意見

常任委員会報告

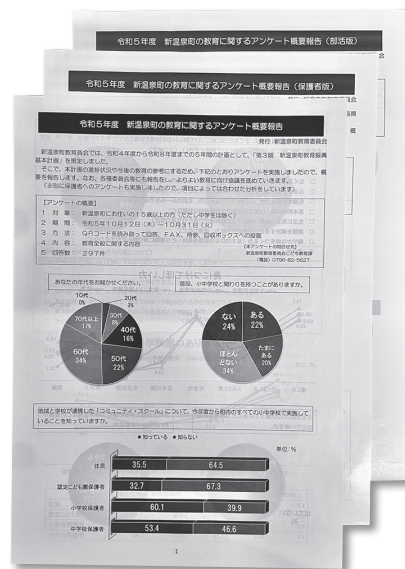
は拮抗している。今後、
しっかり、考えていく。

新温泉町中高連携方
針報告書

報告 学校・地域住民・保護者・行政が集い、取組みについて本格的に検討し、魅力的で系統性・連続性のある教育を確立するために作成。

Q 二つの中学校を統合し、その上で高校との連携を考えるのか。

A 統合ではない。二つの中学校と浜坂高校がより関係を深め、連携していく。



教育に関するアンケート結果

Q 浜坂高校1学年1
学級でいいのか。

A 学習の保障のため
にも、2学級維持を支
援していく。

生涯教育課

芸術文化観光専門職大
学生との夢ホール連携

Q 観客数100名は
 どのような。夢ホールの規模から考えると少ないのではないか。

A 夢ホールでの学生
演劇という初めての試

みであり、学生と協議して調整を行っていく。

第2期新温泉町スポーツ推進計画

報告 第1期の計画期間が今年度末で終了するため、第2期の推進計画を作成し、スポーツ施策に取り組む。

Q 年代ごとのアンケートは必要なのかな。資料を公開しなければ町民は参考にならないが。

A 事務局サイドは年代ごとの回答を持っている。来年3月にはホームページに結果を載せる。

Q スポーツクラブ21は何団体残っているのか。
A 13クラブ残っている。

Q 学校の部活で社会人が指導しているのか。

A 浜坂中学校の相撲

部では社会人が指導している。

町民安全課

消防団出動報酬

報告 温泉支団の一部の消防団員への支払いに過払いが生じたことが、令和5年12月6日に判明した。

Q 浜坂支団で過払い
はなかったのか。

A 浜坂支団は本庁で、温泉支団は支所で事務処理を行う。

Q 今年度から制度が変わった。気をつけなかったということか。

A チェック体制が十分ではなかった。



今年度より出勤手当が4時間未満の災害
出勤は4,000円、式典・夏季訓練などの
出勤は2,500円と条例改正された

Q 振替通知書には令和4年度の記載があったとのこと、温泉支団全員ではないか。過払いではなく、誤払いではないか。

A そのとおりである。消防団員には通知を準備している。

健康福祉課

ユートピア浜坂浴槽
水の水質検査結果

Q レジオネラ属菌が
検出された原因は。

A 残留塩素濃度の調整と排管の汚れ。

上下水道課

Q 振込みが2月中旬以降では遅すぎないか。

A 基準日が12月1日で、システム変更が必要となる。国からは年内に予算措置をと通知があった。

Q 振込みが2月中旬以降では遅すぎないか。

Q 対処は。

A 職員のシフトを見直し、引き続き衛生管理に取り組む。

電力・ガス・食料品
等価格高騰緊急支援
給付金支援事業

Q 町下水道料金について新聞への投稿があった。浜坂地域と温泉地域の下水道料金が不統一である現状について、是正すべきとの内容だったが、それに対する見解は。

A 下水道料金の統一と適正な価格を設定することを目標として、現在作業を進めている。

視察研修レポート

— 堆肥センター・充実した教育施策・フルデマンド交通 —

本議会では4年に1度、議員全員参加の視察研修を行っております。今回は昨年10月19、20日に兵庫県佐用町と岡山県和気町、久米南町を議員と議会事務局及び副町長の18名で視察しました。また、視察研修は議員個々による報告書の提出が義務付けられています。本レポートでは、取組み内容や参考になった点をご報告いたします。

議会常任委員会合同行政

視察研修は、比較調査や政策研究のため、先進的に取り組む地域を視察し、議員個々が報告書を提出している。今回は本町において懸案となっている3テーマについて、3つの地域を訪れ、担当者から具体的な予算の話や利用実績、課題等について伺うことができた。

堆肥センター

〈兵庫県佐用郡佐用町〉

佐用町の民間企業、近畿農産資材(株)を訪問し、堆肥化施設、運用方法、町との関わり等について伺った。

取組み内容

- ① 1975年から牛ふん・鶏ふん堆肥の製造販売。
- ② 創業から現在まで、自治体から特段の支援はない。
- ③ 牛ふん堆肥、バーク堆肥等の農業部門に加え、園芸部門と法面・造園部門の事業を展開。
- ④ 主な取引先は商社。

参考になった点

- ① 牛ふんへ副資材を混ぜ合わせ発酵させる初期工程に3か月、製品化工程に3か月を要す。初期工程は工場外の牧場で済ませるため、平野部にある工場ではほぼ臭いが発生しない。↓ニオイ問題対策として工程ごとの作業・蓄積に大きなスペースが必要。

- ② 佐用町は本町の2倍以上の頭数の畜産牛(乳牛



この規模の施設が4棟ほどある

含む)が飼われており、さらに養鶏場もある。そのような資源が多くあり、大きな堆肥場でなければ経済的又は品質的に良い堆肥は作りづらい。↓本町では堆肥の製造販売を目的とした運用は効果的でない。

まとめ

本町において課題となっている牛ふんの処理問題であるが、伝統的に飼育頭数の少ない農家が多く、地域で集めて堆肥化しようとしても十分な量が確保できないと思われる。また、近年の飼料等の影響から牛ふんの質も変わり、良い堆肥になりづらいものとなっている。

本研修によって、中途半端な堆肥化を狙うのではなく、より畜産農家に寄り添った政策にフォーカスすべきであるとわかった。

充実した教育施策

〈岡山県和気郡和気町〉

人口約1・3万人の和気町は人口減少対策の一つに「教育のまち『和気』構想」を掲げている。数多く取組む教育施策について役場担当者に伺った。

取組み内容

- ① 2015年の町民アンケートにおける「教育・保育の環境」へのニーズの高さが教育政策の出発点。
- ② 町内全小中学校が英語特区の特例校指定。オーストラリアの学校と遠隔授業等を行う。
- ③ 小5・中3を対象とした無料公営塾を開講。
- ④ 町内唯一の県立高校存続のための高校魅力化事業。既存の寮に加えて、町として新たな寮を整備予定。
- ⑤ 2017年に町内7つの小学校を3校に再編成した。70%以上の児童がスクールバス7台で登校

視察研修レポート



担当課長、教育長からの説明

している。

- ⑥ 6年間で6000人の移住者。うち子育て世代が7割。

参考になった点

- ① 公営塾事業では、指導者が感じたことや得たことを学校や教育委員会にフィードバックしている。なお、指導者はALTや地域おこし協力隊、近隣大学生が務めている。利用は対象児童生徒の16.5%(75名)が登録。↓子どもの居場所を作りながら、指導者から教育現場への情報共有を行

い、効果的な学習支援を
目指している。

- ② 旧和気町区域の5小学校のうち1校は規模が大きく、4校は小さく複式学級が増えてきていた。子どものための思い、適正規模検討委員会の答申に従って5校から2校に再編成した。中学校については、答申では2校を1校に再編成する内容である。保護者は統合してほしいと言うが、地域の声により旧町に1校ずつ残している。↓本町の現在の状況と非常に合致している。

まとめ

人口減少対策の一つの教育施策であるが、移住理由で「教育環境が良いから」と回答したのは3割に留まった。しかしながら、小中学校の魅力化や連携、町内の高校支援、学校編成そして人口などあらゆる点で類似しており、教育に力を入れる自治体だからこそ、

その取り組みと成果は参考になるものであった。

フルデマンド交通

〈岡山県久米郡久米南町〉

人口約4500人、高齢化率45%の久米南町はAI予約配車システムを活用した持続可能なフルデマンド交通を実現している。運用上の課題やAI活用成果を役場担当者に伺った。

取り組み内容

- ① JR以外の交通事業者の撤退を受け、2016年に各ゾーンと中心部との間を運行するデマンド交通事業をスタート。
② 2020年、トヨタモビリティ基金の助成を受け、AI予約配車システムを導入。利用2.1倍、満足度19ポイントアップの87%、1利用あたり経費62%削減。
③ システム導入によりいつでも、町内どこでも移動可。スマホでネット予約もできるようになった。



デマンド交通カッピのりあい号

参考になった点

- ① 岡山市のバス運行业者兼タクシー事業者に事業委託。勤務時間やエリアが限定されていることから運転手確保に現状不足はない。↓広域・勤務地として受け入れることで運転手不足に対策可能。しかしながら、町内事業者が現存する本町ではさらに工夫が必要である。
② ネット予約の場合、英語表記にもできるため、インバウンド観光客も利用する。↓町内どこか

らどこへでも行けるので、路線図や乗り換えを意識せず利用もでき、住民、観光客とも利便性が大幅に向上する。

- ③ 年間の事業委託料は3800万円程度(経費から運賃売上と国県補助金を除いたもの)で、うちAIシステムは170万円である。↓本町の町民バス委託料は約1億3000万円である。規模・形態が異なるため定性・定量的評価を十分に検討しなければならない。

まとめ

久米南町の道路総延長は約300kmで、本町は約400kmである。面積と人口は本町の三分の一であり、本町より規模が小さいため比較しづらいが、将来の姿として非常に参考になる地域であった。同時に、人口減による福祉費の増大は我が町にも懸念される。

(報告者 岡坂遼太)

効果の点検・検証

新温泉町議会では議会改革の一環として、質疑・質問の目的である「現行の政策を変更、是正あるいは新規政策を採用させること」などの効果を点検・検証します。

働きやすい環境づくりのために病児・病後児保育の設置をすべき。(令和元年9月定例会ほか)

【質問】 こども園、小学校に通う子どもが病気や感染症になり、回復が長期になった場合、働いている保護者は仕事を休む日数が増える。そのため、病児・病後児保育の設置が求められている。

【答弁】 子育て支援として当町でも設置できるよう調査し、検討していきたい。

【効果】 令和5年12月定例会における補正予算で、病児・病後児保育施設開設準備のための予算が可決された。

かねてより希望の声が多くある事業であり、園児・小学生の保護者の負担軽減が期待される。



元気に登園する親子

七釜温泉第二泉源をもっと知ってもらい、観光として活かすために整備してはどうか。(令和3年6月定例会)

【質疑】 「七釜第二泉源」は七釜温泉街の奥に広がる平野にあり、自然豊かな中にある。泉源は有るが、設備も老朽化していてあまり知られていない。泉質も良いと聞いている。設備を整備すれば、有効に活用され、観光に活かされるのではないか。

【答弁】 現在、設備も古く利用が少ない状況にある。この泉源を活用し、七釜温泉全体の来客増につなげたい。

【効果】 七釜第二泉源は、令和5年4月に足湯「白(しら)さぎの湯」に改修された。以前より多くの方に利用されるようになった。これを契機として、地域の方が観光名所とすべく頑張っている。



足湯「白さぎの湯」

【お願い】 みなさまからの忌憚のないご意見をお待ちしています。

議案一覽

令和5年 第128回定例会 提出議案一覽

発案番号	件 名	発案番号	件 名
報告第10号	専決処分の報告について (専決第6号) 損害賠償の額の決定及び和解に関する専決処分について	議案第121号	令和5年度新温泉町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について
報告第11号	専決処分の報告について (専決第7号) 損害賠償の額の決定及び和解に関する専決処分について	議案第122号	令和5年度新温泉町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)について
報告第12号	専決処分の報告について (専決第8号) 損害賠償の額の決定及び和解に関する専決処分について	議案第123号	令和5年度新温泉町浜坂地区残土処分場事業特別会計補正予算(第3号)について
議案第110号	新温泉町行政組織条例の一部改正について	議案第124号	令和5年度新温泉町浜坂温泉配湯事業会計補正予算(第2号)について
議案第111号	新温泉町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	議案第125号	令和5年度新温泉町水道事業会計補正予算(第3号)について
議案第112号	新温泉町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	議案第126号	令和5年度新温泉町下水道事業会計補正予算(第3号)について
議案第113号	新温泉町職員の給与に関する条例の一部改正について	議案第127号	令和5年度新温泉町公立浜坂病院事業会計補正予算(第2号)について
議案第115号	新温泉町国民健康保険税条例の一部改正について	議案第128号	新温泉町手数料条例の一部改正について
議案第116号	新温泉町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	議案第129号	農業委員会委員の任命同意について
議案第117号	新温泉町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	議案第130号	令和5年度新温泉町一般会計補正予算(第7号)について
議案第118号	町道二日市古市線新市橋上部工修繕工事請負変更契約の締結について	発議第4号	新温泉町議会議員定数条例の一部改正について
議案第119号	令和5年度新温泉町一般会計補正予算(第6号)について	発議第5号	新温泉町立認定こども園を考える調査特別委員会の設置について
議案第120号	令和5年度新温泉町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について	請願第2号	新温泉町議会議員定数減に係る請願書について (新温泉町議会のあり方等調査特別委員会報告)

議会目録

4日	北但行政事務組合議会運営委員会《豊岡市》 新温泉町子牛共進会	5日	美方郡広域事務組合議会大庭認定こども園運動会	7日	兵庫県町議会議長会第3回臨時総会《神戸市》 議会広報調査特別委員会	10日	北但行政事務組合議会定例会《豊岡市》	11日	美方郡町議会連絡協議会研修会 暴力追放・地域安全・交通安全 美方郡住民大会	12日	第14回新温泉町岸田川駅伝競走大会 上山高原プログラム「秋のエコフェスタ」	14日	議会のあり方等調査特別委員会 新温泉町すこやかクラブ連合会浜坂支部福祉大会	15日	議会広報調査特別委員会 研修《兵庫県佐用町・岡山県和気町・岡山県久米南町》	16日	国道9号笠波峠除雪拡幅開通式典《香美町》	17日	25日 町村監査功労者表彰式・町村監査委員全国研修会《東京都》	19日	第105回兵庫県畜産共進会《養父市》 例月出納検査	22日	北但行政事務組合議会定例会《豊岡市》 北但行政事務組合議会運営委員会《豊岡市》	24日	定期監査 11月2日	26日	麒麟のまち創生戦略会議サミット《香美町》 兵庫県町議会議長会議員研究会《神戸市》 全員協議会	27日	美方郡広域事務組合議会議員協議会	28日	山陰新幹線整備促進麒麟のまち6町議員連盟総会《岩美町》 新温泉町恒久平和祈念式 議会運営委員会 第127回新温泉町議会臨時会 全員協議会 第36回浜坂みなとカニ祭り 第24回宇野雪村賞全国書道展賞状授与式 北但行政事務組合議会世話人会《豊岡市》 例月出納検査 公立浜坂病院創立50周年記念式典 北但行政事務組合議会臨時会《豊岡市》 第67回町村議会議長全国大会並びに意見交換会《東京都》 美方郡広域事務組合議会議員全員協議会 美方郡広域事務組合議会臨時会	29日	議会運営委員会 世界農業遺産認定記念シンポジウム 第128回新温泉町議会定例会 議会広報調査特別委員会 令和5年度兵庫県国道9号改修期成同盟会通常総会《香美町》 議会運営委員会 美方郡広域事務組合議会運営委員会《香美町》 総務産建常任委員会 民生教育常任委員会 北近畿豊岡自動車道豊岡道路(Ⅱ期)起工式典《豊岡市》 例月出納検査 議会のあり方等調査特別委員会 美方郡広域事務組合議会臨時会	31日	12月	1日	2日	6日	7日	11日	12日	13日	14日	16日	25日	26日
----	-----------------------------------	----	------------------------	----	--------------------------------------	-----	--------------------	-----	---	-----	--	-----	--	-----	--	-----	----------------------	-----	---------------------------------	-----	------------------------------	-----	--	-----	---------------	-----	--	-----	------------------	-----	--	-----	--	-----	-----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----



挿し絵 木本博明氏

元気なパフォーマン스로幸せな笑顔を

ももいろクロおばあちゃん

代表 西垣幸子

活動内容は…町内のイベントで出演要請があり、「ももいろクロおばあちゃん」の歌に合わせて踊ったり、デイサービス施設などでの要請でも出張して盛り上げています。昨年の年末12月31日には「ももいろ歌合戦」で本物のももクロと一緒に踊りました。

いつから・きっかけ…令和4年9月に居組敬老会の出演の依頼があり、ご近所さんで「おばちゃん」ももクロを踊ったらおもしろいんじゃないかなあ」という思い付きで結成しました。初出演は令和4年11月の新温泉町文化祭です。その後、令和5年9月に但馬牧場公園での「但馬牛まつり」での演技を公園の担当の方がX（旧ツイッター）で公開いただいたのをきっかけに、ももクロのファンに情報が届き、NHKからの電話もあり、急に3か月で別世界まで波及してしまいました。



ももいろ歌合戦に向かうメンバー達

メンバーは…れいちゃん（69）、ひでこちゃん（62）、えりこちゃん（61）、さとみちゃん（64）、ゆきちゃん（53）

セールのポイント…毎年新しいレパートリーを1曲増やしていったっており、現在は2曲を踊る事ができますが、今年は3曲目に挑戦いたします。

今後の抱負…新温泉町内の多くの方に、幸せな笑顔をお届けしたいです。身体の続くかぎり、地域の要望があれば長く活動したいです。

皆さんにお願いしたいこと…この半年で周りの状況が一変しましたが、出演希望があればお声がけください。

その他…令和5年12月31日の「ももいろ歌合戦」の感想ですが、1万人以上の横浜アリーナのももクロファンの中で、実物のももクロと踊れて、夢のような舞台に立つことを楽しめました！

編集後記

今定例会で議員定数の削減が決定しました。次回選挙から2名減の14名となります。この議員定数については、今年春から始動した「議会のあり方等調査特別委員会」でパブリックコメントを途中に挟んで何度も議論をしました。議場で議員同士が意見を多く交わすことは稀なので、各議員の視点を聞く刺激と学びがありました。一方で、議員数が減ると町民の声を拾いづらくなり議会力も落ちます。その対策を仕組み化していきたいです。（R・O）

議会広報調査特別委員会

委員長	岡坂遼太
副委員長	森田善幸
委員	西村龍平
	澤田俊之
	米田雅代
	浜田直子

発行者 議長 池田宜広